DocuPrint C3200 A
PCL エミュレーション
設定ガイド

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは DocuPrint C3200 A をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、PCL5c、PCL6 エミュレーションについて記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および DocuPrint C3200 A の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

セットアップガイド	本機の設置と、増設メモリー（オプション）の取り付け手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。また、トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。 なお、このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、ユーザーズガイドを参照してください。
ユーザーズガイド（PDF）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理方法について、説明しています。 ・ このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、および弊社ソフトウエアのインストール方法を説明しています。 ・ このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）（本書）	ART IV、ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL の各エミュレーションについて説明しています。 ・ 201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL エミュレーションは、オプションのエミュレーションキット、またはPostScriptソフトウエアキットを取り付けると使用できます。 ・ このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript® Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足

・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CentreWare の CD-ROM を使って、まず Adobe Reader をインストールしてください。

本書の読み方

前提知識

本書の内容は、お使いの OS（オペレーティングシステム）の環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いの OS の基本的な知識や操作方法については、OS に付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. エミュレーションを使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。

2. PCL モードの設定

PCL エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　補足事項を記述しています。

   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　」：参照先は、本書内です。

   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

   [　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

   ＞：操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

4. 本文中では、PCL5c と PCL6 をまとめて PCL と表記しています。

1　エミュレーションを使用するには

1.1　エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語の PCL エミュレーションについて説明します。

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-CLJ5500

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- LPD ポート
- NetWare ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- USB-1（1.1）ポート
- USB-2（2.0）ポート
- Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

PCL エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。PCL のモードメニュー画面を表示するには、〈メニュー〉ボタンを押し、[プリントゲンゴノ セッテイ] で [PCL] を選択してください。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ
      PCL
```

参照

・ PCL のモードメニュー項目：「2 PCL モードの設定」(P. 14)

1.2 フォントについて

ここでは、PCL エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

PCL エミュレーションでは、以下のフォントが使用できます。

アウトラインフォント

欧文

- CG Times
- CG Times Italic
- CG Times Bold
- CG Times Bold Italic
- Univers Medium
- Univers Medium Italic
- Univers Bold
- Univers Bold Italic
- Univers Medium Condensed
- Univers Medium Condensed Italic
- Univers Condensed Bold
- Univers Condensed Bold Italic
- Antiq Olive
- Antiq Olive Italic
- Antiq Olive Bold
- CG Omega
- CG Omega Italic
- CG Omega Bold
- CG Omega Bold Italic
- Garamond Antiqua
- Garamond Kursiv
- Garamond Halbfett
- Garamond Kursiv Halbfett
- Courier
- Courier Italic
- Courier Bold
- Courier Bold Italic
- Letter Gothic
- Leter Gothic Italic
- Letter Gothic Bold
- Albertus Medium
- Albertus Extra Bold
- Clarendon Condensed Bold
- Coronet
- Marigold
- Arial
- Arial Italic
- Arial Bold
- Arial Bold Italic
- Times New Roman
- Times New Roman Italic
- Times New Roman Bold
- Times New Roman Bold Italic
- Symbol
- Wingdings
- Times Roman
- Times Italic
- Times Bold
- Times Bold Italic
- Helvetica
- Helvetica Oblique
- Helvetica Bold
- Helvetica Bold Oblique
- CourierPS
- CourierPS Oblique
- CourierPS Bold
- CourierPS Bold Oblique
- SymbolPS
- Palatino Roman
- Palatino Italic

- Palatino Bold
- Palatino Bold Italic
- ITC Bookman Light
- ITC Bookman Light Italic
- ITC Bookman DemiBold
- ITC Bookman DemiBold Italic
- Helvetica Narrow
- Helvetica Narrow Oblique
- Helvetica Narrow Bold
- Helvetica Narrow Bold Oblique
- New Century Schoolbook Roman
- New Century Schoolbook Italic
- New Century Schoolbook Bold
- New Century Schoolbook Bold Italic
- ITC Avant Garde Book
- ITC Avant Garde Book Oblique
- ITC Avant Garde DemiBold
- ITC Avant Garde DemiBold Oblique
- ZapfChancery Medium Italic
- ZapfDingbats

ビットマップフォント

- LinePrinter

1.3　排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

・ 残ったデータを強制排出する場合

・ プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。パラレルインターフェイス、USB-1（1.1）インターフェイス、USB-2（2.0）インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、［ジドウ ハイシュツ ジカン］で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには［データ マチデス］が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足

・ ディスプレイに［データ　マチデス］が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常に印刷されないことがあります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照

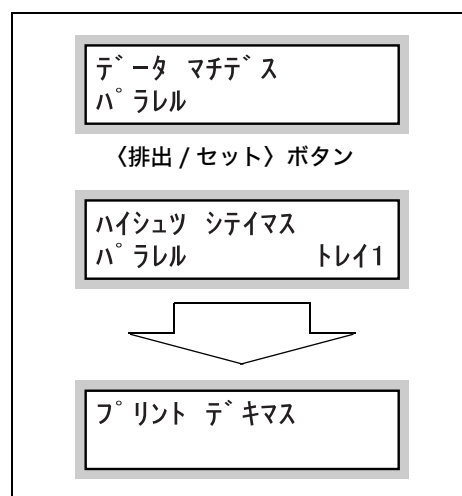
・ 自動排出時間：『ユーザーズガイド』

1. 右記のディスプレイ状態で〈排出 / セット〉ボタンを押します。

印刷が開始されます。

印刷が終了すると、［プリント デキマス］の表示になります。

注記

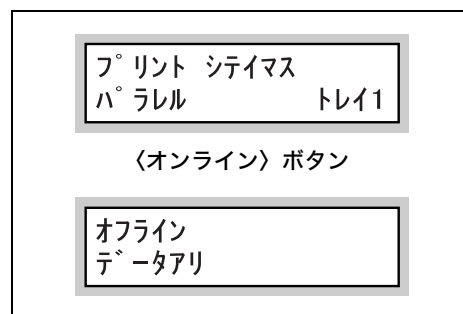
・ 共通メニュー項目の［プリントモード シテイ］が［ジドウ］の場合、［データ マチデス］と表示されないため、強制排出できません。

プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

プリンターに受信されている、すべてのジョブを実行して印刷します。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

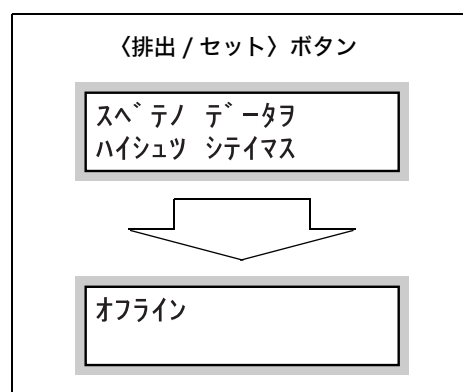
1. 右記のディスプレイ状態で〈オンライン〉ボタンを押します。

補足

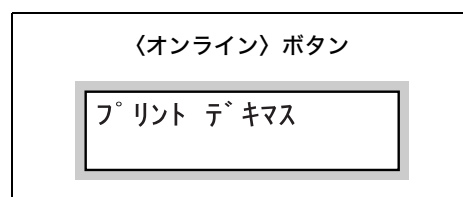
・〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   印刷が開始されます。

   すべてのジョブを実行して印刷すると、[オフライン］の表示になります。

補足

・ パラレルインターフェイス、USB-1（1.1）インターフェイス、USB-2（2.0）インターフェイスを使用している場合、手順 1 の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは〈排出 / セット〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順 3 のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
   ［プリント デキマス］の表示になります。

補足

・［プリント デキマス］が表示されたあと、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニューの［プリントモード シテイ］で［ジドウ］が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

1.4　PCL モードでの印刷機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機の印刷機能について説明します。

フォーム / フォントのダウンロード

本機では、PCL を使用してフォントやフォームをダウンロードし、登録できます。

また、登録されたフォームやフォントは、操作パネルから削除できます。

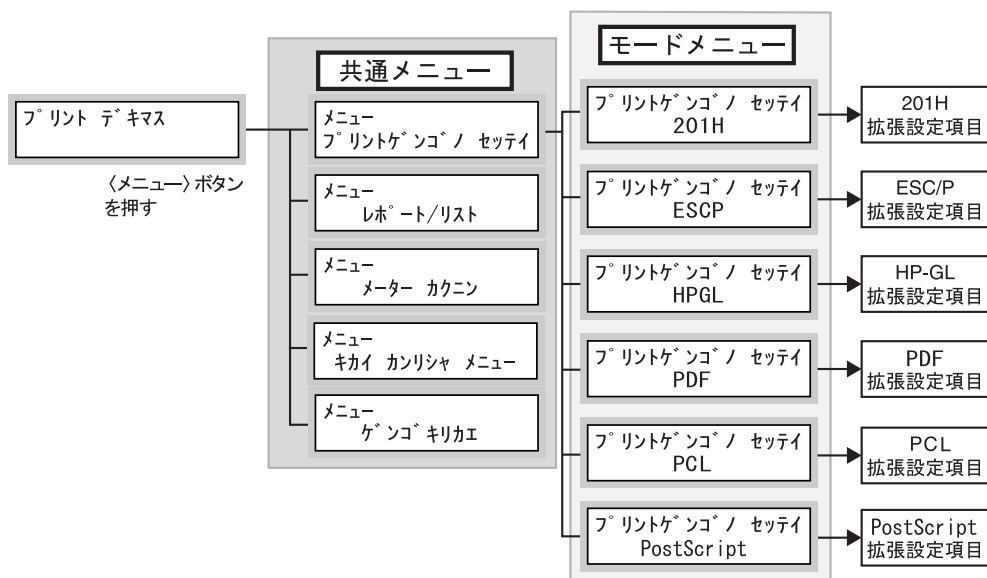
登録されたフォームやフォントを削除するには、〈メニュー〉ボタンを押してメニュー画面を表示し、[キカイ カンリシャ メニュー] > [ショキカ / データ サクジョ] > [フォームノ サクジョ] または [フォント サクジョ] を選択します。

補足

・ 本機能を使用するためには、内蔵増設ハードディスク（オプション）が必要です。

2　PCL モードの設定

2.1　本機のメニューについて

メニューには、エミュレーション関連を設定するモードメニューと、プリンターのそのほかの設定を行う共通メニューがあります。

PCL に関する共通メニュー

エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けると、共通メニューで、以下の項目が設定できます。

- ポート ノ キドウ（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1（1.1）/USB-2（2.0）/Port9100）
  PCL エミュレーションを使用するポートを起動します。
- プリントモード シテイ（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1（1.1）/USB-2（2.0）/Port9100（初期値：[ジドウ]））
  ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［PCL］、または［ジドウ］を選択します。
- PCL フォーム　サクジョ
- PCL フォント　サクジョ

参照
・『ユーザーズガイド』

モードメニューについて

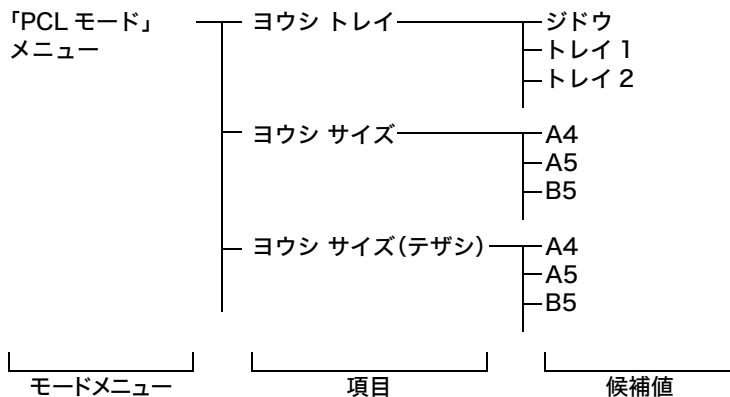
PCL モードメニューは、PCL エミュレーション固有の設定をするためのメニューです。

モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

・ モードメニュー＞項目＞候補値

補足

・ 項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
（以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。）

上記の図は、PCL モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照

・ モードメニューで設定できる項目および操作：「2.2 PCL モードメニューの設定」(P. 16)

2.2　PCL モードメニューの設定

モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

PCL 設定項目一覧

PCL モードメニューで設定できる項目について説明します。

ヨウシ トレイ（用紙トレイ）

印刷に使用する用紙トレイを設定します。

候補値は次のとおりです。

[ジドウ]（初期値）

この場合、[ヨウシ サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。

[トレイ 1]

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[トレイ 5（テザシ）]

補足

- [トレイ 1] ～ [トレイ 4] を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、[ヨウシ サイズ] の設定はできません。
- [ジドウ] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- [トレイ 2] ～ [トレイ 4] は、オプショントレイが取り付けられている場合に表示されます。

ヨウシ サイズ（用紙サイズ）

印刷する用紙のサイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A5] [B5]

[8.5×14]（リーガル）

[8.5×13]（フォリオ）

[8.5×11]（レター）

ヨウシ サイズ（テザシ）（用紙サイズ（手差し））

手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A5] [B5] [ハガキ]

[8.5×14]（リーガル）

[8.5×13]（フォリオ）

[8.5×11]（レター）

[フウトウ モナーク] [フウトウ #10] [フウトウ DL] [フウトウ C5]

ハイシュツサキ（排出先）

印刷した用紙の排出先トレイを設定します。本機では、[センタートレイ]（固定）です。

インサツ ホウコウ（印刷方向）

用紙の印刷方向を [タテ]、[ヨコ] から設定します。初期値は [タテ] です。

リョウメン（両面）

両面印刷をするかしないかを設定します。初期値は［シナイ］です。

両面印刷を［スル］に設定した場合は、さらに綴じ方向を［チョウヘン トジ］または［タンペン トジ］から選択できます。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は［23 Courier］です。

シンボル セット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は［ROMAN 8］です。

フォント サイズ

フォントサイズを設定します。初期値は［12.00］です。4.00 ～ 50.00 の間で 0.25 刻みに設定できます。

フォント ピッチ

文字間を設定します。初期値は［10.00］です。6.00 ～ 24.00 の間で 0.01 刻みに設定できます。

フォーム ライン

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。初期値は［64］です。5 ～ 128 の間で 1 刻みに設定できます。

ブスウ（部数）

印刷する部数を、1 ～ 999 部の間で設定します。初期値は［1 ブ］です。

ImageEnhancement（イメージエンハンスメント）

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うか行わないかを、［スル］または［シナイ］で設定します。初期値は［スル］です。

HexDump

コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを、16 進表記形式と対応する ASCII コードで、印刷するかどうかを、［ユウコウ］または［ムコウ］で設定します。初期値は［ムコウ］です。

ドラフト モード

ドラフトモードでの印刷をするかどうかを、［ユウコウ］または［ムコウ］で設定します。初期値は［ムコウ］です。

カラーモード

カラーモードを設定します。

候補値は次のとおりです。

［ジドウ］（初期値）

［カラー］

［シロクロ］

Line Termination

ラインターミネーションを設定します。

候補値は次のとおりです。

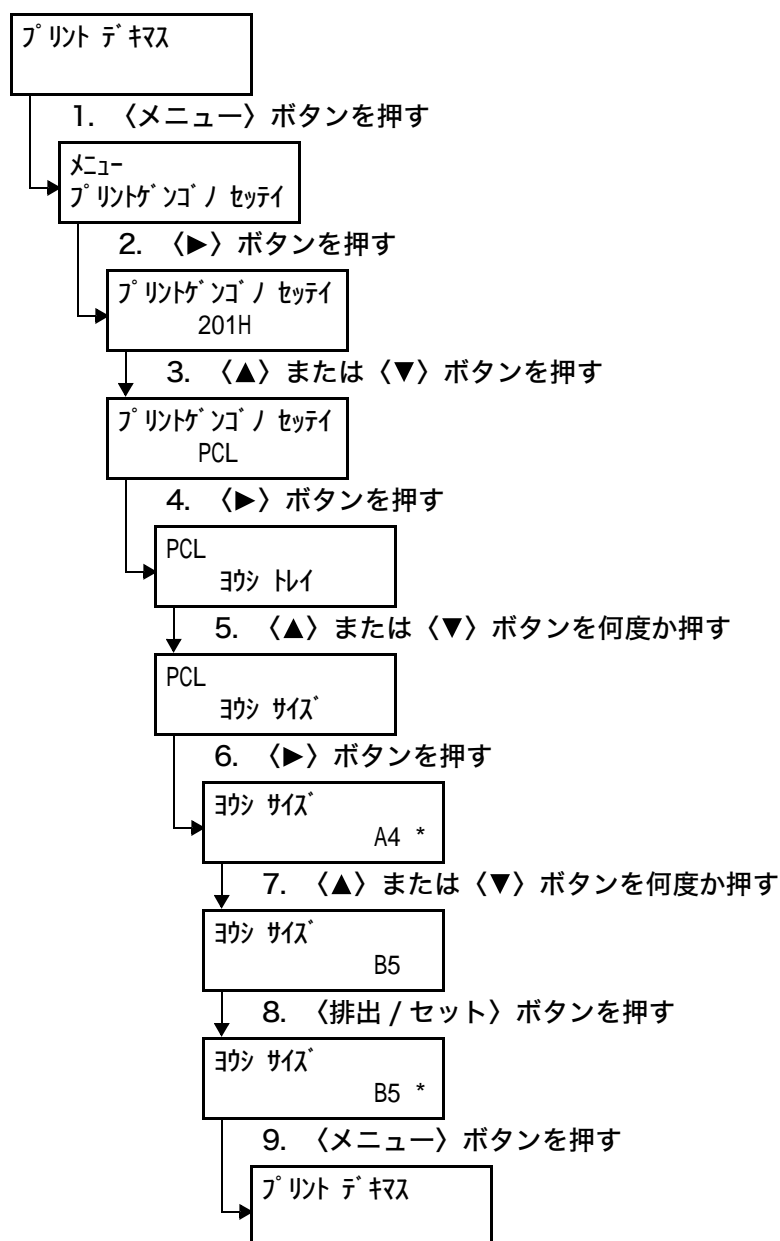
[シナイ]（初期値）

[Add-LF]

[Add-CR]

[CR-XX]

PCL モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、PCL モードの用紙サイズを［B5］に設定する場合を例に説明します。

2.3 PCL モードのリストについて

PCL モードのリストについて説明します。

補足

・ ほかのレポート / リストについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

PCL 設定リスト

PCL モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［プリントゲンゴ］＞［PCL セッテイ リスト］を選択し、印刷します。

DocuPrint C3200 A

PCL設定リスト

日時 : 2005/07/08 10:01 PM

PCL設定

項目	設定値
用紙トレイ	自動
用紙サイズ	A4
用紙サイズ (手差し)	A4
排出先	センタートレイ
印刷方向	たて
両面	しない
フォント	Courier
シンボルセット	Roman 8
フォントサイズ	12.00
フォントピッチ	10.00
フォームライン	64
部数	1
Image Enhancement	する
HexDump	無効
カラーモード	自動
Line Termination	しない
ドラフトモード	無効

PCL フォーム登録リスト

登録したフォームなどを確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] ＞ [プリントゲンゴ] ＞ [PCL フォーム リスト] を選択し、印刷します。

DocuPrint C3200 A

PCLフォーム登録リスト

日時 : 2005/07/08 10:01 PM
ページ : 1(最終)

PCLフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数

索引

記号・英数

ア

カ

ハ

マ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

・マニュアルの名称	DocuPrint C3200 A PCL エミュレーション設定ガイド	・管理番号	ME3482J1-1

・ご 芳 名		・貴 社 名	
・所属部門		・電話番号	[内線]
・所 在 地			

個人情報の取り扱いについて

マニュアルコメント用紙にご記入いただいたご芳名、所在地、電話番号等は、富士ゼロックス株式会社のマニュアル制作担当部門でマニュアルに対するお客様のご要望を具体的に把握・分析してマニュアルを改善するための活動、およびご協力いただいたお客様へのお礼状の送付のために利用いたします。

・ページ	・行	・内容へのご指摘 / ご要望

・富士ゼロックス記入欄		
・記事	・受付 NO.	・受付担当印

1 版

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［送付先］

HID 開発部

マニュアルグループ　行

担当社員

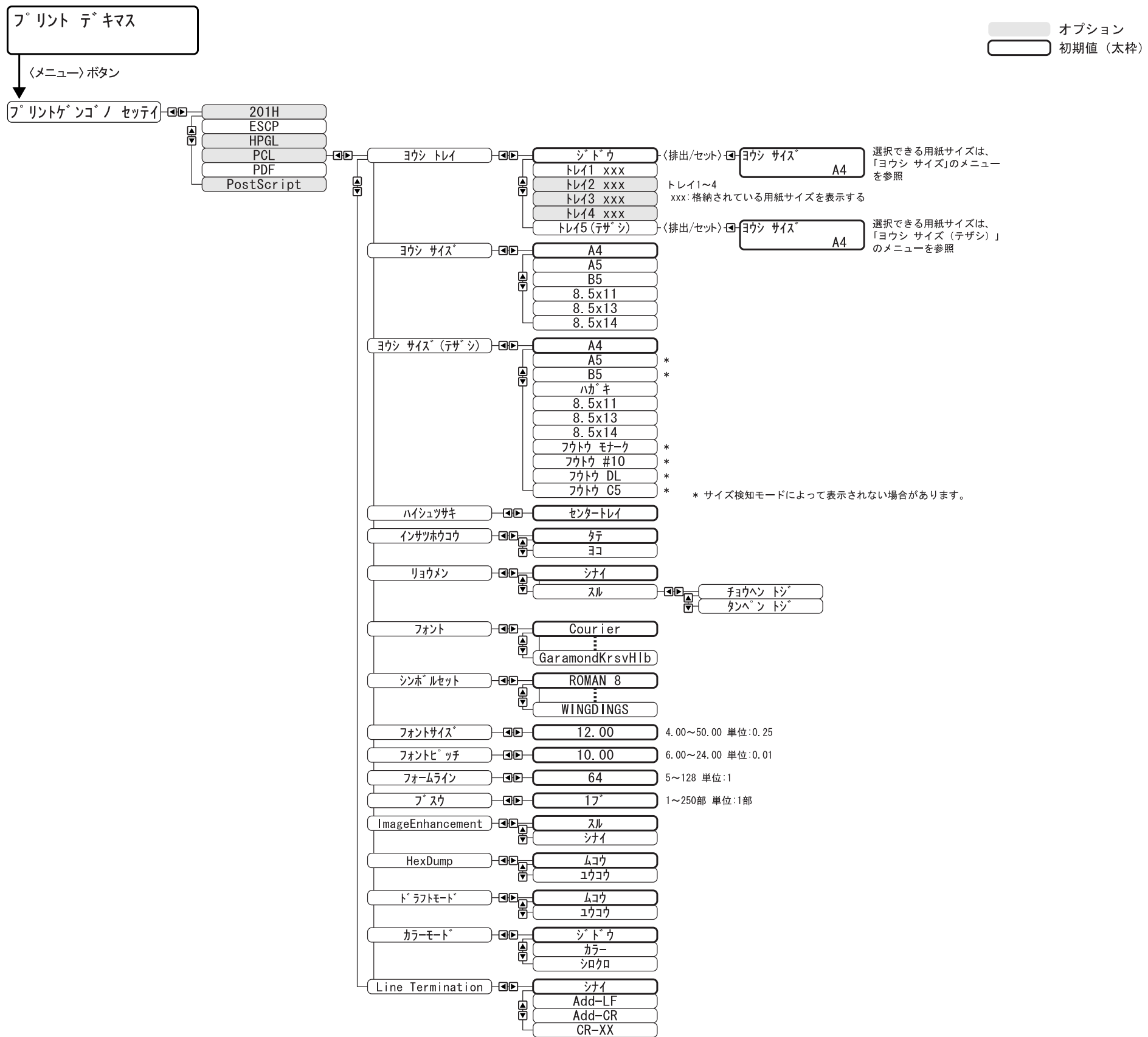
事業部　営業所　課　G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

モードメニュー一覧（PCL）

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**(内容・期間・費用)のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3200 A　PCL エミュレーション設定ガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社
発行年月―2005 年 12 月第 1 版

（管理 No: ME3482J1-1）